



2011年8月に出版された『工場は生きている-ものづくり探訪-』の著者二人が、現場を歩いて感じとった兵庫のものづくりを取り巻く環境と経済、そしてこれからを語ります。

神戸新聞経済部次長

加藤正文 氏

地域環境計画研究所代表取締役

関西学院大学地域・まち・環境総合政策研究センター客員研究員

綱本武雄 氏

工場は生きている 地域産業の現場から

2011年12月7日(水)18:00～20:00 ※事前予約不要、参加費無料

関西学院大学 大阪梅田キャンパス 10階 1001教室

主催：リサーチ・コンソーシアム連携ゼミナール

〔講師紹介〕

加藤正文：1964年、兵庫県西宮市生まれ、尼崎育ち。大阪市立大学商学部卒（地域経済論専攻）。1989年、神戸新聞社入社。経済部、北摂総局、阪神総局などに勤務。論説委員兼編集委員を経て2011年3月から経済部次長。著書、論文に『工場を歩く―ものづくり再発見』（神戸新聞総合出版センター）、『アスベスト禍』（岩波書店・雑誌「世界」2010年8月号）、『主体としての都市―関一と近代大阪の再構築』（勁草書房・J・ヘインズ著を共訳）など。

綱本武雄：1976年に神奈川県で生まれ、転居先のオランダで洋画家の吉屋敬に水彩画を学ぶ。帰国後は高校卒業までを静岡県磐田市で過ごす。多摩美術大学美術学部建築学科で建築デザインを学び、関西学院大学総合政策研究科では片寄俊秀（都市政策）に師事。2001年に（株）地域環境計画研究所に入社し、2011年より代表取締役。地域づくりや製造業への関心から、商店街や工場の情報発信のコンサルティングを行う。また、尼崎南部再生研究室の研究員として、伝統野菜「尼いも」の栽培や運河網を活かしたクルーズにも取り組んでいる。著書に『工場を歩く』（神戸新聞総合出版センター）、『僕はアマイモ』（尼いもクラブ）がある。

お問い合わせ：関西学院大学大学院 総合政策研究科

■ Tel. 079-565-7601

■ E-mail : spswebmaster@ml.kwansei.ac.jp

■ URL : <http://www.kg-sps.jp/>

